

## ブラックアウト



林 冬彦 議員

**Q** 災害時大停電への備えは  
**A** 燃料補給の協定締結を検討する

議員 災害時大停電（ブラックアウト）への備えはどうか。

**危機管理監** 避難所となるすべての小中学校、本庁舎、市のサーバーがある新曽南庁舎、市民医療センター、消防本部庁舎と東西分署、各所に自家発電設備と燃料タンクを設置している。長期化する際には燃料補給が必要で、既に補給体制のある消防以外の施設については、今後、国や県への燃料の要請や業者との協定締結を検討する。

議員 燃料補給が無い場合、発電装置の稼働時間は、本庁舎・小中学校・市民医療センターは3日間、新曽南庁舎は9時間半と伺った。

▼本庁舎に設置されている自家発電設備



災害時、新曽南庁舎が燃料切れで情報発信ができなくなる事態は避けなければならない。まずは燃料補給に関する協定締結を速やかに行うこと、次に災害時の物流障害に備え、国も推奨する太陽光発電プラス蓄電池や電気自動車等、補完対策の検討を強く要望する。

### 災害時の情報収集・発信の体制づくりを

議員 現状はどうであったか。

**危機管理監** 電話相談や問い合わせによりニーズを把握し、ツイッターによる情報発信にも力を入れ、適宜行った。

議員 市民や避難所が求めている情報との間にずれがあったのでは。次に備え情報収集・分析・発信する体制づくりを要望する。

## 台風19号被害



本田 哲 議員

**Q** 要望項目を踏まえた今後の対応は  
**A** 各部署、国や県と調整を図る

議員 日本共産党戸田市議団は、市民の皆さんからさまざまな要望を頂き、10月23日、市長に「台風19号についての対応と今後の対策についての要望書」を提出し懇談を行った。要望項目は、被災者の生活再建支援に力を尽くすこと。地球温暖化対策を強化すること。三領水門のポンプアップ強化と荒川第二・三調節池の早期完成を県・国に強く申し入れること。防災ラジオの普及強化と購入費補助金の拡大。避難所における、職員の配置体制の見直し、備蓄品の補強。被災後の対応として、床上・床下の消毒体制の強化。高齢者世帯、情報弱者への支援強化。災害見舞金を工場・店舗・事業所等にも拡大することなどである。要望項目を踏まえた今後の対応の考えは。

**危機管理監** 過去にない大規模な災害対応を実施した教訓から、課題や問題点等を踏まえ、各部署、国や県、関係機関と調整を図りながら鋭意取り組んでいく。

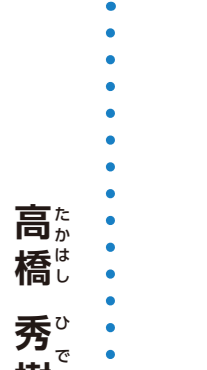
### 本村橋南側に歩道橋の設置を

議員 歩行者の安全確保の観点から本村橋南側に歩道橋の設置を。  
**都市整備部長** 歩道橋の設置は、現在の橋より1メートル程度高さを上げる必要があり、周辺道路との高さ調整が技術上困難。先行しての設置はできないと考える。



▲冠水した戸田中通り

## 彩湖・道満被害



高橋 秀樹 議員

**Q** 台風19号からの復興はいつごろになるか  
**A** 3月上旬までにすべて利用可能に

議員 台風19号の被害は甚大であり、戸田市では彩湖・道満グリーンパークが湖のようになり、球場などが使用できなくなった。復興はいつごろになるか。

**環境経済部長** 広場やテニスコート、陸上競技場、サッカー場Aは12月末までに利用可能に、野球場やソフトボール場、釣り堀などは3月上旬までに利用可能となる予定。

### 河川の堤防のかさ上げを

議員 戸田市が管理する上戸田川やさくら川では、越水により床上浸水などの被害が出た。川幅の拡幅や堤防のかさ上げを。埼玉県が管理する菖蒲川や緑川も、堤防のかさ上げを行うよう県に要請を。  
**都市整備部長** 市管理の上戸田川、



▲台風により水没した彩湖・道満グリーンパーク

## 子育て支援



三輪 なお子 議員

**Q** 幼児教育無償化における本市の今後の課題は  
**A** 制度周知と事務負担軽減に努める

議員 幼児教育無償化における本市の今後の課題について伺う。  
**子ども青少年部長** まず市民への制度周知の課題に対し、今年度中に無償化の概要に関するパンフレットを作成し、配布する。また、事業者側の給食費集金等、事務負担の軽減に努める。

議員 QRコードを読み取る身元確認システムを導入すべきと考えるが、いかがか。  
**福祉部長** 先進的な事例も含めて調査研究していく。

### 風疹予防対策は

議員 無料クーポンの利用状況は。  
**福祉部長** 39歳から46歳の男性9132人のうち抗体検査実施者数1028人、そのうち十分な抗体がなくワクチン接種した人は196人。検査率向上に努める。



▲園庭で元気に遊ぶ保育園児たち

### 一般質問

議員 認知症サポーターの人数と活躍の場について伺う。  
**福祉部長** サポーターを6300人養成。認知症グループホーム等の事業所において傾聴ボランティア